

罪人

シリーズ～新約聖書入門～ 2017/3/26

旧約聖書における罪

▶ エデンの園での出来事

- ▶ アダムが主の命令に従わなかつたことによりすべての人は「罪人」となった
- ▶ 「一人の人によって罪が世に入り、罪によって死が入り込んだ」ローマ5:12

▶ 律法による罪の規定

- ▶ 律法により罪が明文化された
 - ▶ モーセの十戒
- ▶ 一方で、罪が赦される方法も与えられた
 - ▶ 幕屋、祭司、いけにえ制度

パウロによる罪の教え

▶ 全人類共通の罪

▶ 「神を知りながら、神としてあがめることも感謝することもせず、かえって、むなしい思いにふけり、心が鈍く暗くなつたからです。」ローマ1:21

▶ 罪の結果

▶ 「彼らは神を認めようとしなかつたので、神は彼らを無価値な思いに渡され、そのため、彼らはしてはならないことをするようになりました。あらゆる**不義**、**悪**、**むさぼり**、**惡意に満ち**、**ねたみ**、**殺意**、**不和**、**欺き**、**邪念にあふれ**、**陰口を言い**、…」1:28～

イエス様による罪の教え

▶ 行動に起こさなくても罪である

▶ 「あなたがたも聞いているとおり、『姦淫するな』と命じられている。しかし、わたしは言っておく。みだらな思いで他人の妻を見る者はだれでも、既に心の中でその女を犯したのである。」マタイ5:27-28

▶ 罪人を「病人」と言わされた

▶ 「イエスはこれを聞いて言わされた。『医者を必要とするのは、丈夫な人ではなく**病人**である』」9:12

▶ **自力では直せない** > 医者が必要

罪人の身代わりとなられたイエス様

- ▶ イエス様の死と復活により罪人は義人となる
 - ▶ 「人は皆、罪を犯して神の栄光を受けられなくなっていますが、ただキリスト・イエスによる贖いの業を通して、神の恵みにより無償で義とされるのです。」ローマ3:23-24
- ▶ アダムの失敗をイエス様が取り戻された
 - ▶ 「一人の罪によってすべての人に有罪の判決が下されたように、**一人の正しい行為**によって、すべての人が義とされて命を得ることになったのです。」5:18

義人とされたら罪を犯さなくなるのか

▶ 再び罪に支配される可能性さえある

- ▶ 「あなたがたの死ぬべき体を罪に支配させて、体の欲望に従うようなことがあってはなりません。」
ローマ6:12

▶ 与えられた自由を正しく用いる

- ▶ 「兄弟たち、あなたがたは、自由を得るために召し出されたのです。ただ、この自由を、肉に罪を犯せる機会とせずに、愛によって互いに仕えなさい。」ガラテヤ5:13

パウロの嘆きと解決

- ▶ 望む善ではなく、望まない悪を行ってしまう
 - ▶ 「わたしは、自分の内には、つまりわたしの肉には、善が住んでいないことを知っています。善をなそうという意志はありますが、それを実行できないからです。わたしは自分の望む善は行わず、望まない悪を行っている。」ローマ7:18-19
- ▶ 神の靈によって導かれる
 - ▶ 「肉に従って生きるなら、あなたがたは死にます。しかし、**靈(聖靈)**によって**体の仕業を絶つ**ならば、あなたがたは生きます。神の靈によって導かれる者は皆、神の子なのです」。8:13-14

罪を犯してしまう原因(弱さ)

無知

- ・ 罪だと知らずに犯してしまう(言葉)

傲慢

- ・ 自分を特別な者だと勘違いして犯してしまう(ヨブ・ファリサイ派)

感情

- ・ 感情のおもむくままに犯してしまう(カイン・サウル)

肉体

- ・ 「誘惑に陥らぬよう、目を覚まして祈っていなさい。心は燃えても、肉体は弱い。」マタイ26:41

「弱さ」と向き合う

- ▶ 「弱い」とは無力である,虚弱であるという意味
 - ▶ 病気ではないが,病む可能性を持っている
- ▶ 自分の中の「弱い領域」を自覚する
 - ▶ お金・異性・プライド・不寛容・短気・頑固さ……
- ▶ 弱さをあきらめない(向き合い続ける)
 - ▶ 「『内なる人』としては神の律法を喜んでいますが、わたしの五体にはもう一つの法則があって心の法則と戦い、わたしを、**五体の内にある罪の法則**のところにしているのが分かります。」ローマ7:22-23
- ▶ 「言い訳」をしない!

弱さに同情される主

「大祭司(イエス・キリスト)は、**自分自身も弱さを身にまとっている**ので、無知な人、迷っている人を思いやることができるのです。」

ヘブライ5:2

「この大祭司は、わたしたちの**弱さに同情できない方ではなく**、罪を犯されなかつたが、あらゆる点において、わたしたちと同様に試練に遭われたのです。」

ヘブライ4:15